

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 4 月 10 日現在

機関番号：30107

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2012

課題番号：22520619

研究課題名（和文）英文読解に成功する学習者像を求めて：動機づけ，学習観，方略の統合的視座から

研究課題名（英文）Investigating Successful Readers of English: From the Integrated Perspectives of Motivation, Beliefs, and Strategy

研究代表者

松本 広幸（Matsumoto Hiroyuki）

北海学園大学・経済学部・教授

研究者番号：00549404

研究成果の概要（和文）：本研究では，英文読解方略指導を含む授業実践を通して，英文読解方略使用，動機づけ，一般学習観の関連性を探り，読解力の向上をはじめその効果について検証した。主な研究成果として，英文読解方略使用，動機づけ，一般学習観には概して有意な関係性が認められ，英文読解方略の指導は読解力の向上だけではなく，動機づけや学習観などの関連要因にもプラスの影響を与えうることが判明した。また，これらの個人差要因の初期状態により，その後の発達や要因間の相互作用に違いが生じることも示された。

研究成果の概要（英文）：In this study, we investigated the relationships among strategy use, motivation, and general learner beliefs in L2 reading by implementing teaching practices including a strategy intervention. The results indicated that there are significant relationships among strategy use, motivation, and general learner beliefs in L2 reading, and that strategy intervention can have a positive influence on motivation and beliefs as well as on reading proficiency. It was also shown that the development and interaction of these individual difference factors differ among L2 readers according to their individual difference profiles.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	700,000	210,000	910,000
2011 年度	800,000	240,000	1,040,000
2012 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,400,000	720,000	3,120,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：外国語教育

キーワード：方略的介入・読解方略・動機づけ・学習観・個人差要因

## 1. 研究開始当初の背景

第2言語読解研究の中軸は認知的要因（読解力・方略使用等）であり，情意的要因（動機づけ）や学習観を含む研究は少数であった。このような傾向が主流であったために，どの

ような動機づけ特性や学習全般に対する志向性が，読解力や読解方略使用と関係しているかについての知見を得るには至らなかった。

## 2. 研究の目的

本研究は、日本人大学生の英文読解方略と動機づけ、および一般学習観の関係性についての調査および分析を通して、高等教育における読解授業の質の向上に資することを目的として実施された。本研究では、三者をひとつの統合的研究分野として位置づけ、英文読解中の方略使用とその背景としての動機づけや学習観との関係から、新たな知見を得ることを目指した。

## 3. 研究の方法

(1) 効果的な英文読解を促進すると想定される読解方略、ならびにその背景と考えられる動機づけや学習観に関する質問紙を開発し、予備調査の結果に基づき妥当性や信頼性について検討した。

(2) 方略的介入を含む英文読解授業を実践し、同時に本調査を実施した。

(3) 主に共分散構造分析を用いて全体傾向の分析を行い、クラスター分析や分散分析を併用して個人差の観点からも検討した。

(4) 異なる大学・学部の学生を対象に授業実践を継続し、フォローアップ調査を実施した。

## 4. 研究成果

(1) 方略的介入にかかわらず、英文読解方略使用、動機づけ、一般学習観には概して有意な関係性が認められた。

(2) 英文読解方略の指導は読解力の向上だけでなく、動機づけや学習観などの関連要因にもプラスの影響を与えうる。

(3) 個人差要因（読解力、読解方略、動機づけ、一般学習観）の初期状態（ID profiles）により、その後の発達や要因間の相互作用に違いが生じる。

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計4件）

- ① Hiroyuki Matsumoto, *Can Strategic and Motivational Intervention Develop Second Language Reading Performance?*, 第9回ハワイ教育国際会議プロシーディングス, 査読あり, 2011, 2695-2716.
- ② Tomohito Hiromori, Hiroyuki Matsumoto, Akira Nakayama, *Profiling Individual Differences of Successful and Unsuccessful L2 Readers*, *The Journal of Asia TEFL*, 査読あり, Vol. 8, No. 3, 2012, 191-219.
- ③ Hiroyuki Matsumoto, Tomohito Hiromori, Akira

Nakayama, *Toward a Tripartite Model of L2 Reading Strategy Use, Motivations, and Learner Beliefs*, *SYSTEM*, 査読あり, Vol. 41, No. 1, 2013, 38-49.

DOI: 10.1016/j.system.2013.01.006

- ④ Akira Nakayama, Neil Heffernan, Hiroyuki Matsumoto, Tomohito Hiromori, *The Influence of Goal Orientation, Past Language studies, Overseas Experiences, and Gender Differences on Japanese EFL Learners' Beliefs, Anxiety, and Behaviors*, 査読あり, Vol. 6, No. 2, 2012, 19-39.

〔学会発表〕（計6件）

- ① Hiroyuki Matsumoto, Neil Heffernan, *Can Intervention by a Combination of Reading Strategies Develop L2 Learners' Orchestration of Strategy Use?*, 第49回大学英語教育学会全国大会, 2010, 宮城大学.
- ② Hiroyuki Matsumoto, Akira Nakayama, *Can the Concurrent Use of Text Organization and Main Idea Strategies Facilitate EFL Reading Performance?*, *New Dynamics of Language Learning: Spaces and Places - Intentions and Opportunities*, International Conference and 29th Summer School of Applied Language Studies, 2011, ユバスキュラ大学（フィンランド）.
- ③ 松本広幸, 廣森友人, *L2読解における読解方略と動機づけ, 学習観の関係 - 共変動モデル構築へ向けて -*, 第37回全国英語教育学会, 2011, 山形大学.
- ④ Hiroyuki Matsumoto, *Relationships Among Strategy Use, Motivations, and Learning Beliefs in L2 Reading Comprehension*, Japan Lecture Series at the Department of Asian Languages and Literatures, 2011, マサチューセッツ大学アマースト校（米国）.
- ⑤ Hiroyuki Matsumoto, Akira Nakayama, *Investigating Strategy Use, Motivation, Beliefs, and Proficiency Together in L2 Reading*, 大学英語教育学会第51回全国大会, 2012, 愛知県立大学.
- ⑥ Hiroyuki Matsumoto, Tomohito Hiromori, *Implications for EFL Reading Classrooms: Comparison of Strategy Use and Motivation in Reading Between EFL Learners in Japan and L2 Learners in the States*, 第11回ハワイ教育国際会議, 2013, ホノルル市.

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：

発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等なし

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

松本 広幸 (Matsumoto Hiroyuki)  
北海学園大学・経済学部・教授  
研究者番号：00549404

### (2) 研究分担者

中山 晃 (Nakayama Akira)  
愛媛大学・教育学生支援機構・准教授  
研究者番号：70364495

廣森 友人 (Hiromori Tomohito)  
明治大学・国際日本学部・准教授  
研究者番号：30448378

### (3) 連携研究者